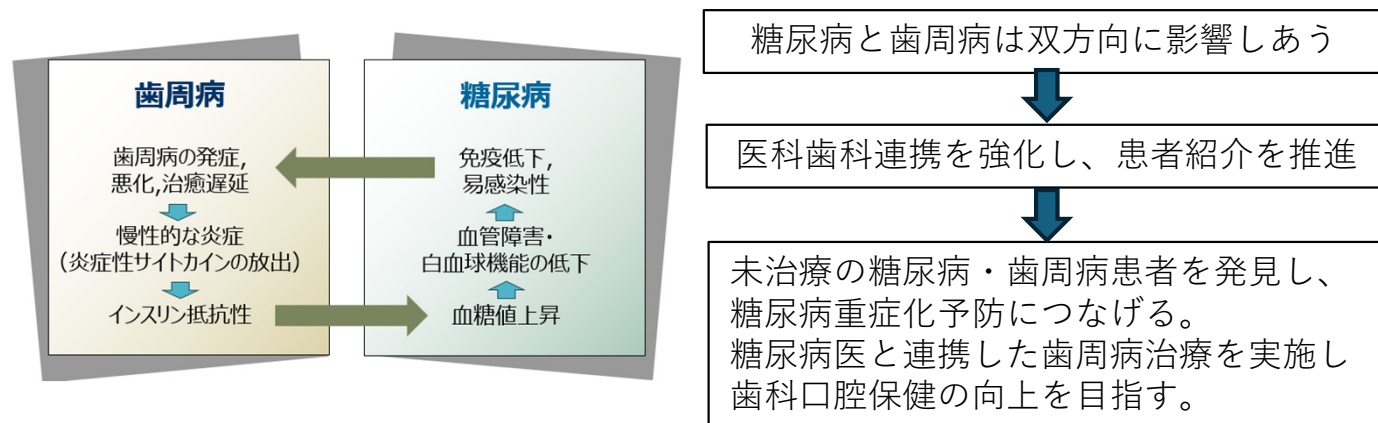


# 令和7年度 糖尿病歯周病医科歯科連携推進事業 マニュアル（歯科版）

## 本事業の目的

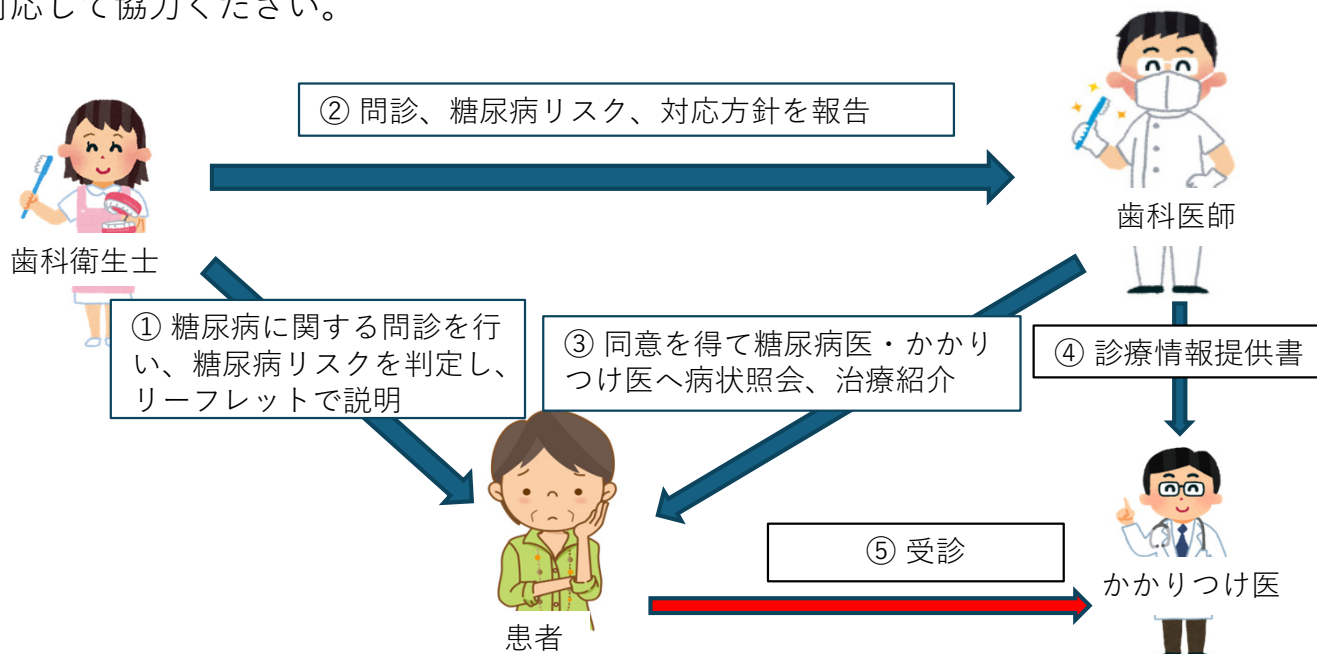


## 歯科医師、歯科衛生士などスタッフへのお願い

本事業では、歯周病で通院されている患者さんに対して、糖尿病との関わりを意識した取り組みを進めていき、下記の効果を期待して行うものです。

- ・ 糖尿病の 早期発見・早期対応
- ・ 患者さんの 全身的な健康状態の改善
- ・ 医療費全体の 削減への貢献
- ・ 医科・歯科の診療情報共有による 安全で安心な歯科医療の提供

歯科医師だけでなく、歯科衛生士を含めた **医院全体での取り組み** を推奨します。チェックシート記入のサポートやリーフレットの説明など、医院スタッフで分担して対応して協力ください。



## STEP 1 対象患者の抽出

歯周病治療で通院中の患者を対象とします

対象患者以外は通常治療

患者対象抽出実施期間：12月20日～1月20日

## STEP 2 患者チェックリストの記入

対象患者に

「糖尿病に関するチェックリスト」を記入してもらいます。基本的に患者の自己申告で記入してもらってください。

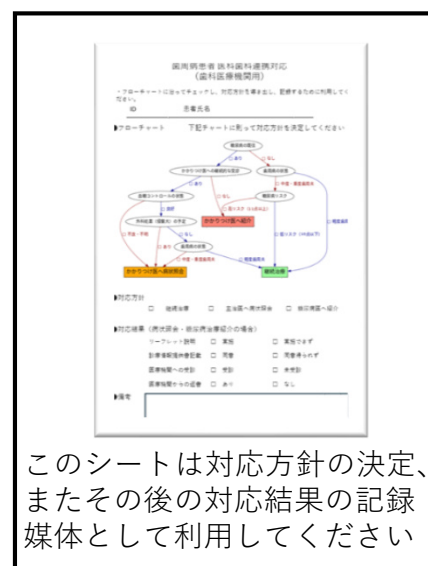
待合室での待ち時間などを利用して記入してもらいましょう

## STEP 3 対応方針の決定

「患者チェックリスト」に加え、以下の情報を確認して、「歯周病患者 医科歯科連携対応・記録シート」に必要事項をチェックします

- ・ 問診から血糖コントロールの状態
- ・ 歯周病検査結果
- ・ 今後予定されている侵襲度の高い外科処置の有無

下記のフローチャートに従って、該当する対応方針を選択してください

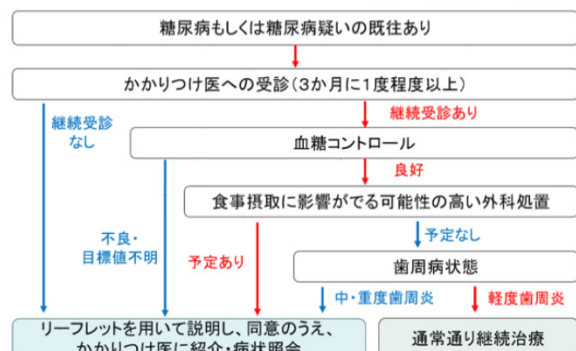


このシートは対応方針の決定、またその後の対応結果の記録媒体として利用してください

対応方針が継続治療の患者はここで終了です

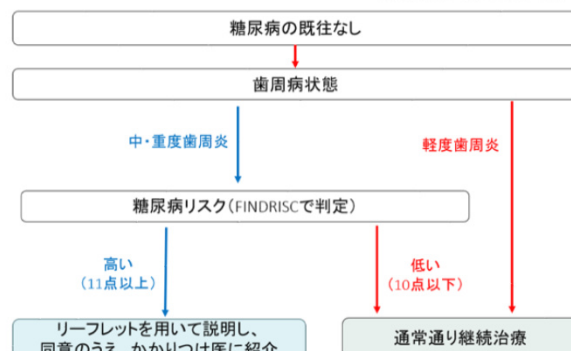
### モデル歯科医療機関でのフローチャート

糖尿病・疑い既往のある場合



### モデル歯科医療機関でのフローチャート

糖尿病・疑い既往のない場合



## STEP 4 糖尿病と歯周病の関係を説明・アンケート依頼 (リーフレットの使用を推奨)

対応方針が「病状照会」、「糖尿病治療紹介」となった場合

- ・糖尿病と歯周病、さらに歯科治療との関連について患者に説明します
- ・その際、右のリーフレットを用いると理解が深まりやすいため、活用を推奨します
- ・あわせて患者アンケートを渡し、回答の協力をお願いしてください



## STEP 5 診療情報提供書の記載

### 説明に同意を得られた場合

→「糖尿病歯周病診療情報提供書（歯科→医科）」に記載してください

記載は手書きか、Excelデータか利便性の良い方を利用してください

### 同意が得られなかった場合

→ 医科歯科連携は行わず、通常の歯科診療を継続します

## STEP 6 医療機関の選択

**病状照会：** 通院中の主治医宛てに提供書を作成します。

**糖尿病治療紹介：** かかりつけ医、または通院しやすい医院を選択してください

（糖尿病専門医である必要はありません）

**適切な医院が不明な場合：**

「医療情報ネット（ナビイ）」等で検索して案内しましょう。

**診療情報提供書同封物：**

糖尿病歯周病診療情報提供書（記載済と返信用）・協力依頼文書・参照資料



医療情報ネット  
(ナビイ)

## STEP 7 ケースカードへの記載・アンケート結果の提出

①症例ごとに結果をケースカードに記載してください

②提出方法（いずれかの方法で提出をお願いします）

ケースカード： ・Excelに入力してメールで提出

- ・ケースごとにGoogleフォームに入力
- ・レターパックで郵送

アンケート： ・Googleフォームに入力

- ・レターパックで郵送

提出期限：2月10日までのデータを**2月17日必着**で提出をお願いします